

お知らせ

◆新年会のお知らせ

新年の懇親会を予定しております。ビンゴゲームで楽しい景品が。来月出欠のご連絡が行きますから、ぜひご参加下さい。

日時 1月30日(土)

12時30分～15時

会場 東京・一ツ橋「如水会館」

◆遠藤順子著

『河の流れのよつに』

夫・遠藤周作の宿題に取り組み続けてきた著者が、今、「自分史」を語る。定価 1200円

音楽座ミュージカル

「泣かないで」のご案内

原作・遠藤周作

「わたしが・棄てた・女」

かつて遠藤周作に「自分の作品でこれほど泣いたのは初めてだ」「日本のミュージカルもここまで来たか」と言わせた「泣かないで」(音楽座)が、今年の12月、東京・池袋の東京芸術劇場で上演されます。期間は12月19日から29日まで。

すでに会員の皆様には別便にてご案内を差し上げましたが、12月23日の夜には、終演後に遠藤順子夫人と

女子パウロ会刊

2009年11月20日 初版発行

◆遠藤文学講座のお知らせ

「遠藤周作の生涯と文学」『イエスの生涯』・『キリストの誕生』を読む

日時 1月9日、2月13日、3月13日(土)

3時20分～4時50分

(日時は変更する場合がありますので、申し込みの際にご確認ください)

場所 幼きイエス会

(四谷駅麹町口前)

03-3261-0825

講師 山根道公

受講料 1回2000円(学生半額)

申込み 風編集部

内容 『イエスの生涯』の12章、13章およびその続編『キリストの誕生』の1章を読み解き、日本人にも実感できるイエス像について考えます。

◆『遠藤周作研究』第二号

遠藤文学に関する研究論文七編と参考文献目録及び研究展望を掲載した『遠藤周作研究』第二号が遠藤周作学会より刊行されました。頒価1000円。申込みは学会HPへ。

◆遠藤周作の新作

『遠藤周作文学論集』全2冊

(文学篇・宗教篇) 講談社

加藤宗哉・富岡幸一郎編

各巻/本体2800円(税別)

11月16日発売

内容 遠藤周作初の文学評論集です。これまで収録されることのなかった〈幻の処女評論〉を巻頭に置いた「文学篇」と、大胆な提言をふくんだ「宗教篇」の2冊から成ります。評論家として出発した遠藤周作の本質を明らかにするうえで、長いあいだ刊行が待たれた書です。

◆「周作クラブ」会員募集

遠藤文学ファンはもろろん、これから読んでみようという若い人も大歓迎です。下記の加藤宗哉事務所内「周作クラブ」までおハガキかFAXを下されば、折返し会費振込用紙をお送りします。

◆編集後記

▼年4回発行している本会報もすでに37号です。第9回の定時総会を9月に終え、周作クラブも創立10年目に入りました。本年度中(来年9月の総会まで)に会報は40号を迎え、会も創立10周年ということになります。ということはみんなが、10歳年を取ったということになります。

▼老いをさけることはできませんが、楽しく心豊かに過ごすことは可能です。ちよつとした工夫で残された人生が楽しく豊かになるなら、遠藤先生は、対談やエッセイ、また樹座などの活動を通して、そのことを私たちに教えてくれました。

▼原稿発掘の「あなたに似た人」、ユーモリストとしての遠藤先生が彷彿とするエッセイです。どうも半分はフィクションのような気もしますが。

▼「遠藤周作学会」は、遠藤文学研究者たちの熱気あふれる研究報告で、もっと詳しい内容が知りたくくなります。今後は、先生のユーモアや遊びについても、深く考察する研究者が出てほしいと思います。▼今年もあとわずかです。新年会と原点の旅、ぜひご参加ください。(颯)

「周作クラブ」第37号

2009年11月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 金子 コウ

■編集 岡田厚美、黒澤政子、近藤恭弘

■発行所 高木香織、大原正裕、矢内一正

加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

TEL080-11097-11979

FAX03-3411-7939

●次回の会報発行は2月の予定です。